

月島通信

2020（令和2）年10月期 ① <10/1～10/16現在> No.317

※リンク先は2020年10月時点のものです。すでにリンク切れの場合がありますので、その際はご了承ください。

☆ カテゴリー ☆ 見出し ☆ 特記情報 ☆ 参考サイト ☆

1 【菓子】

■グリコ、「ビスコ」15年ぶりのリニューアル

10/6、グリコがビスコをリニューアル発売。15年ぶりとなる今回のリニューアルでは、「素材」と「おいしさ」の「Wイノベーション」に取り組んでいる。クリームに新たに食物繊維を加え、乳酸菌と一緒に摂れるようにしている。また、クリームを25%増量し、ビスコ史上最大のクリーム量を実現。ビスケットとクリームのバランスを見直すことで、これまで以上の口どけの良さが楽しめる。

https://with.glico.com/news/bisco_20201007.html

2 【菓子】

■ブルボン、ストローにも使える「コロネクッキー」が“グッドデザイン賞”を受賞！

ブルボンが今年1月に発売した、環境問題に対応しストローのように吸い上げ機能もあるトッピングクッキー「コロネクッキー」が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の2020年度グッドデザイン賞を受賞。廃プラスチックの環境問題が深刻化している中、お菓子メーカーならではの視点から、ユニークな発想で問題解決をした食べられるストロー。現在同社で販売している「チュエル」という商品を元に、開発を重ねてたどり着いた本製品は、ストローとして使用しても15～30分ほど耐水する。

<https://www.atpress.ne.jp/news/228303>

3 【アイス・CVS】

■ファミリーマートオリジナルアイス売上“No.1”「たべる牧場ミルク」が牛乳にこだわり全面刷新

10/20、ファミリーマートが、同社オリジナルアイス売上No.1の「たべる牧場ミルク」を全面刷新。同商品は、2017年10月の発売以来、累計3,600万個以上販売する、ファミリーマートオリジナルアイス売上No.1商品。リニューアル品は、原料の牛乳をコクのあるおいしさが特長の北海道産に限定し、牧場で食べるようなソフトクリームを目指した。牛乳を最大限使用することで、よりミルク感を楽しめる味わいに仕立てている。

https://www.family.co.jp/company/news_releases/2020/20201016_01.html

4 【 パン 】

■「ホテルコエベーカリー」オープン 生食パンの進化系、フィナンシェのような食パン発売

10/1、「ホテルコエベーカリー」が渋谷にオープン。食パンをメインとし、パンラボ池田浩明氏を監修に迎えたベーカリーで、全5種類の食パンがラインナップ。中でもこだわりがつまった『フィナンシェ食パン ～進化系生食パン～』は、焼菓子のフィナンシェから発想を得た一品。濃厚ながらエアリーで溶けるような口溶けが特徴で、耳はサクサクとほぐれていく新食感の食パン。お土産にも利用できる専用のボックスで提供される。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000268.000036659.html>

5 【 調理 】

■昭和産業、ミンチタイプの大豆ミート「まめたん」発売

10/1、昭和産業が、ひき肉の代わりに使えるミンチタイプの大豆ミート「まめたん」(200g、350円)を発売。水で3分戻すだけで、ひき肉のような形状になり、簡単に使用できる。保存に便利なチャック付きスタンディングパウチで、使いたい時に使いたい分だけ楽に計量できる。100g当たり、たん白質47.5g、食物繊維14.6gとそれぞれ豊富に含有しており、動物性脂肪ゼロ、コレステロールゼロ。

<https://www.showa-sangyo.co.jp/special/soykitchen/>

6 【 調理・CVS 】

■ローソン、各地の人気ラーメン店監修レンジ麺シリーズ発売

10/6、ローソンが、各地の人気ラーメン店監修のレンジ麺シリーズ「RAMEN YOKOCHO（ラーメンよこちょう）」を発売。第一弾として、“日本三大ラーメン”と言われる札幌ラーメン、喜多方ラーメン、博多ラーメンの人気店が監修した3品を発売。今後も月1～2品を発売し、合計5種類程度をラインナップする。

https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1408371_2504.html

7 【 情報 】

■PC作業のお供に“テレワ食”という新ジャンル

テレワーク中、パソコンを操作しながらちょっとしたものを口にする人が増えている。電子レンジで作れる具たくさんカップスープ、1分練るだけのマッシュポテトなど、フレキシブルに楽しめる“テレワ食”と呼ぶべき新ジャンルが今後活況を呈しそう。日本水産のカップ入り具たくさんスープ「スウカムスープ」がその筆頭。タピオカを吸うような太いストローが付属し、器もスプーンも不要。電子レンジで温めたら、パソコンの横に置いて少しずつ飲める。1食分の野菜が入ったスープのため、デスクサイドで栄養補給するのにぴったり。テレワ食としての売り込みに今後力を注ぐ。

https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00368/00004/?i cid=nbpxr_ranking